

福 岡 県 改 修 工 事 特 記 仕 様 書

工事概要

- | | | | |
|---------|-----------------|---|---|
| 1. 工事名称 | 総合福祉センター外壁等改修工事 | | |
| 2. 工事場所 | 行橋市大字中津熊501番地 | | |
| 3. 工事概要 | は別紙（仕上表）による。 | | |
| 4. 別途工事 | ・ | ・ | ・ |

建築工事仕様

- 欄 準 仕 様
- 面及び特記仕様欄に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事版）」（平成28年版）（以下「改修仕様」）及び「建築改修工事監理指針（平成28年版）」による。
- ただし、改修仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事版）」（平成28年度版）及び「建築工事監理指針（平成28年版）」による。
- 特 記 仕 様
- 項目は番号に○印のついたものを適用する。
- 特記事項は ○印のついたものを適用する。
- 印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
- 印と ●印のついた場合は、共に適用する。
- 1) 特記事項に記載の () 内表示番号は、公共建築改修工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。
- 2) 特記事項に記載の () 内表示番号は、公共建築工事標準仕様書の当該項目、当該図、または当該表を示す。
- 3) 形状法等の単位は特記なき限り、ミリメートルとする。

	項目	特記事項				
①	適用基準等	図面もしくは特記仕様書に記載なき場合は、以下の仕様書による。 (1)「公共建築工事標準仕様書（建設工事編）平成 28 年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修」（以下「標準仕様書」という。）による。 (2)「公共建築改修工事標準仕様書（建築物工編）平成 28 年版」国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (3)「公共大木造建築工事標準仕様書 平成28年版」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (4)「建築物解体工事共通仕様書 平成24年版」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修				
	補足基準等	1.適用仕様等、図面、特記仕様書に記載なきものについては、以下の基準、指針、要領、標準図等による。 (1)「建築構造設計基準 平成25年版」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 (2)「建築工事標準詳細図 平成 28 年版」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 (3)「鉄筋コンクリート構造配筋要領 平成11年版」 建設大臣官庁官庁営繕部監修 (4)「擁壁設計標準図 平成12年版」 建設省大臣官庁官庁営繕部監修 (5)「建築工事監理指針 平成 28 年版」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 (6)「建築改修工事監理指針 平成 28 年版」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 (7)「建築安全施工技術指針・同解説」 国土交通省大臣官庁官庁営繕部整備課監修 (8)「解体工事安全施工指針」 建設業労働災害防止協会 (9)「建設廃棄物処理指針」 厚生労働省生活衛生局 (10)「建築物解体等に係るアスベスト飛散防止対策マニュアル」 環境省大気保全局 (環境用アスベスト飛散防止対策研究会) (11)「建築物等の解体等工事における石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（新版）」 建設業労働災害防止協会 (12)「官庁施設の総合耐震診断・改修基準及び同解説(平成 8 年版)」 建設大臣官庁官庁営繕部監修 (13)「建築工事標準仕様書・同解説」 日本建築学会 (14)「建築工事の手引き」 福岡県建築都市部編集 (15)「解体工事の手引き」 福岡県建築都市部編集 (16)「植栽工事の手引き」 福岡県建築都市部編集 (17)「黒板、交差、機工事の手引き」 福岡県建築都市部編集				
③	適用範囲等	すべての設計図書は相互に補充するものとす。ただし設計図書に相違がある場合、設計図書の優先順位は、次の（１）～（４）の順序とする。 (1)質問回答書 （（２）から（５）に対するもの） (2)現場説明書 (3)特記仕様書 (4)図面				
	現場に常備する図面等	上記の「1.適用仕様書」及び「2.補足基準」のうち、当該工事に係る図書等については現場事務所に常備し監督職員の確認を得ること。				
5.	工事実績等の登録	請負者は、工事請負額が500万円以上の工事について、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に、工事実績情報サービス（CORINS）に基づき、「建設情報表」を作成し、建築都市総務課契約室の確認を受けた後に、（-財）日本建設情報総合センターに提出しなければならない。また、（-財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」の写しを建築都市総務課契約室に提出しなければならない。 問い合わせ先 〒812-0016 福岡市博多区博多駅東3-11-28博多サンプラザII6F （-財）日本建設情報総合センター九州地方センター TEL 092-411-3664 FAX 092-411-3486 (1.1.4)				
⑥	施工体制台帳	※現場説明書による。請負者は下請け契約を行う全ての工事で施工体制台帳を作成し、工事現場に掲げ置くとともに、その写しを監督員に提出すること。 工事の施工に当たり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督員に報告する。 その後の措置については、監督員の指示に従う。(1.1.12)				
⑨	実施工程表	概成工期（平成 年 月 日） (1.2.1)				
⑩	工事の記録	工事日報は、工事記録を兼ねることができる。(1.2.4) 下記要領により撮影し、写真帳に説明を記入のうえ提出する。（原版は撮影業者が保管する。）				
	区分	分類	規格	枚数	原版の大きさ	備考
	※着工前	※カラー・モノクロ	※サービス版・（ ）	※ 1部	24×36以上又は デジ外面画	監督員の承諾する撮影者 （原版提出不要）
	※施工中	※カラー・モノクロ	※サービス版・（ ）	※ 1部	24×36以上又は デジ外面画	監督員の承諾する撮影者 （原版提出不要）
	※完成時	※カラー・モノクロ	※サービス版・（ ）	※ 1部 ※ 2部	※ 100×125以上 ※ 24×36以上	外観・内部、監督員の指示による。 監督員の承諾する専門業者
	注 記	撮影業者は、建築完成写真の撮影実績がある者で、監督員が承諾する撮影者(着工前、施工中)、監督員の承諾する専門業者(完成)とする。 電子データはRGB(フルカラー)、JPG形式最高画素としCD-Rで提出する。 デジタル撮影時200万画素以上300dpi以上				
各工程ごとに作業時の状況がわかるように黒板(工事名、撮影箇所、年月日等記入)、スケール等をあて撮影する。 建設大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」改訂第2版による。						
11.	電気保安技術者	※適用する（工事用力設備力の保安責任者が兼ねる。） ・適用しない (1.3.3)				
⑫	施工条件	()				(1.3.5)

- | |
|---|--|
| ① | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ | ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ | ㉗ | ㉘ | ㉙ | ㉚ | ㉛ | ㉜ | ㉝ | ㉞ | ㉟ | ㊱ | ㊲ | ㊳ | ㊴ | ㊵ | ㊶ | ㊷ | ㊸ | ㊹ | ㊺ | ㊻ | ㊼ | ㊽ | ㊾ | ㊿ | ㋀ | ㋁ | ㋂ | ㋃ | ㋄ | ㋅ | ㋆ | ㋇ | ㋈ | ㋉ | ㋊ | ㋋ | ㋌ | ㋍ | ㋎ | ㋏ | ㋐ | ㋑ | ㋒ | ㋓ | ㋔ | ㋕ | ㋖ | ㋗ | ㋘ | ㋙ | ㋚ | ㋛ | ㋜ | ㋝ | ㋞ | ㋟ | ㋠ | ㋡ | ㋢ | ㋣ | ㋤ | ㋥ | ㋦ | ㋧ | ㋨ | ㋩ | ㋪ | ㋫ | ㋬ | ㋭ | ㋮ | ㋯ | ㋰ | ㋱ | ㋲ | ㋳ | ㋴ | ㋵ | ㋶ | ㋷ | ㋸ | ㋹ | ㋺ | ㋻ | ㋼ | ㋽ | ㋾ | ㋿ | ㌀ | ㌁ | ㌂ | ㌃ | ㌄ | ㌅ | ㌆ | ㌇ | ㌈ | ㌉ | ㌊ | ㌋ | ㌌ | ㌍ | ㌎ | ㌏ | ㌐ | ㌑ | ㌒ | ㌓ | ㌔ | ㌕ | ㌖ | ㌗ | ㌘ | ㌙ | ㌚ | ㌛ | ㌜ | ㌝ | ㌞ | ㌟ | ㌠ | ㌡ | ㌢ | ㌣ | ㌤ | ㌥ | ㌦ | ㌧ | ㌨ | ㌩ | ㌪ | ㌫ | ㌬ | ㌭ | ㌮ | ㌯ | ㌰ | ㌱ | ㌲ | ㌳ | ㌴ | ㌵ | ㌶ | ㌷ | ㌸ | ㌹ | ㌺ | ㌻ | ㌼ | ㌽ | ㌾ | ㌿ | ㍀ | ㍁ | ㍂ | ㍃ | ㍄ | ㍅ | ㍆ | ㍇ | ㍈ | ㍉ | ㍊ | ㍋ | ㍌ | ㍍ | ㍎ | ㍏ | ㍐ | ㍑ | ㍒ | ㍓ | ㍔ | ㍕ | ㍖ | ㍗ | ㍘ | ㍙ | ㍚ | ㍛ | ㍜ | ㍝ | ㍞ | ㍟ | ㍠ | ㍡ | ㍢ | ㍣ | ㍤ | ㍥ | ㍦ | ㍧ | ㍨ | ㍩ | ㍪ | ㍫ | ㍬ | ㍭ | ㍮ | ㍯ | ㍰ | ㍱ | ㍲ | ㍳ | ㍴ | ㍵ | ㍶ | ㍷ | ㍸ | ㍹ | ㍺ | ㍻ | ㍼ | ㍽ | ㍾ | ㍿ | ㏀ | ㏁ | ㏂ | ㏃ | ㏄ | ㏅ | ㏆ | ㏇ | ㏈ | ㏉ | ㏊ | ㏋ | ㏌ | ㏍ | ㏎ | ㏏ | ㏐ | ㏑ | ㏒ | ㏓ | ㏔ | ㏕ | ㏖ | ㏗ | ㏘ | ㏙ | ㏚ | ㏛ | ㏜ | ㏝ | ㏞ | ㏟ | ㏠ | ㏡ | ㏢ | ㏣ | ㏤ | ㏥ | ㏦ | ㏧ | ㏨ | ㏩ | ㏪ | ㏫ | ㏬ | ㏭ | ㏮ | ㏯ | ㏰ | ㏱ | ㏲ | ㏳ | ㏴ | ㏵ | ㏶ | ㏷ | ㏸ | ㏹ | ㏺ | ㏻ | ㏼ | ㏽ | ㏾ | ㏿ | 㐀 | 㐁 | 㐂 | 㐃 | 㐄 | 㐅 | 㐆 | 㐇 | 㐈 | 㐉 | 㐊 | 㐋 | 㐌 | 㐍 | 㐎 | 㐏 | 㐐 | 㐑 | 㐒 | 㐓 | 㐔 | 㐕 | 㐖 | 㐗 | 㐘 | 㐙 | 㐚 | 㐛 | 㐜 | 㐝 | 㐞 | 㐟 | 㐠 | 㐡 | 㐢 | 㐣 | 㐤 | 㐥 | 㐦 | 㐧 | 㐨 | 㐩 | 㐪 | 㐫 | 㐬 | 㐭 | 㐮 | 㐯 | 㐰 | 㐱 | 㐲 | 㐳 | 㐴 | 㐵 | 㐶 | 㐷 | 㐸 | 㐹 | 㐺 | 㐻 | 㐼 | 㐽 | 㐾 | 㐿 | 㑀 | 㑁 | 㑂 | 㑃 | 㑄 | 㑅 | 㑆 | 㑇 | 㑈 | 㑉 | 㑊 | 㑋 | 㑌 | 㑍 | 㑎 | 㑏 | 㑐 | 㑑 | 㑒 | 㑓 | 㑔 | 㑕 | 㑖 | 㑗 | 㑘 | 㑙 | 㑚 | 㑛 | 㑜 | 㑝 | 㑞 | 㑟 | 㑠 | 㑡 | 㑢 | 㑣 | 㑤 | 㑥 | 㑦 | 㑧 | 㑨 | 㑩 | 㑪 | 㑫 | 㑬 | 㑭 | 㑮 | 㑯 | 㑰 | 㑱 | 㑲 | 㑳 | 㑴 | 㑵 | 㑶 | 㑷 | 㑸 | 㑹 | 㑺 | 㑻 | 㑼 | 㑽 | 㑾 | 㑿 | 㒀 | 㒁 | 㒂 | 㒃 | 㒄 | 㒅 | 㒆 | 㒇 | 㒈 | 㒉 | 㒊 | 㒋 | 㒌 | 㒍 | 㒎 | 㒏 | 㒐 | 㒑 | 㒒 | 㒓 | 㒔 | 㒕 | 㒖 | 㒗 | 㒘 | 㒙 | 㒚 | 㒛 | 㒜 | 㒝 | 㒞 | 㒟 | 㒠 | 㒡 | 㒢 | 㒣 | 㒤 | 㒥 | 㒦 | 㒧 | 㒨 | 㒩 | 㒪 | 㒫 | 㒬 | 㒭 | 㒮 | 㒯 | 㒰 | 㒱 | 㒲 | 㒳 | 㒴 | 㒵 | 㒶 | 㒷 | 㒸 | 㒹 | 㒺 | 㒻 | 㒼 | 㒽 | 㒾 | 㒿 | 㓀 | 㓁 | 㓂 | 㓃 | 㓄 | 㓅 | 㓆 | 㓇 | 㓈 | 㓉 | 㓊 | 㓋 | 㓌 | 㓍 | |
|---|--|

- | | 種別 | 提出形式 | 部数 |
|---|---|------|--------------|
| 完成図
※設計図一式 | ※二折り青焼き又は白焼き製本（A１）
※CＡＤデータ（JWW又はDＸF又はFＳＣ）
※TＩＦＦデータ（竣工図電子データ作成要領による） | | ※１部
・（ ）部 |
| 総合図
※一式 | ※二折り青焼き又は白焼き（適宜：A１又はA３） | | ※１部
・（ ）部 |
| 施工図
※構造躯体
※平面図
※建具
※屋根及び種
・（ ） | ※二折り青焼き又は白焼き（適宜：A１又はA３） | | ※１部
・（ ）部 |
| 作工図
※家具図
・（ ） | ※二折り青焼き又は白焼き（適宜：A１又はA３） | | ※１部
・（ ）部 |

（注）データの提出はCD-R、DVD-R又はUSBフラッシュメモリーに保存して提出すること。

24．保全に関する資料

「標仕」1.7.3(a)の他、下記について必要事項を記入のうえ監督員に提出する。
国土交通省HP「施設保全マニュアル作成要綱」
建設大臣官庁官庁営繕部監修の「管理者のための建築物保全の手引き」（財）建築保全センター発行（1.7.3）
提出部数 ※２部 ・（ ）部
保全に関する説明書 ※建物概要及び内部仕上り表 ※施工者一覧表
※取り扱い説明書、メンテナンスについての注意事項

25．設計G L

※図示による ・現状地盤の平均高さとし、監督員の指示による
ダンプトラック等による工事用資機材等の過積載を行わないこと。さし栓の装置又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックは工事現場内に入りにさせないこと。

27．解体等工事の範囲

解体等工事にかかる範囲は以下のとおり。

 - ・建築物
 - ・地上部・地下部・杭・（倉庫）・（ ）
 - ・付属構造物
 - ・浄化槽・貯油槽・杭・（キュービクル基礎）
 - ・電気設備
 - ・建物内配管配線・電気設備機器・（ ）
 - ・建物への引込線・敷地への引込線（廃止）・（ ）
 - ・建物内配管配線・衛生設備機器・（ ）
 - ・建物への引込管・敷地への引込管（玉下ろし）・（ ）
 - ・空調設備
 - ・建物内配管・空調設備機器・（ ）
 - ・建物内風道
 - ・建物内配管・ガス設備機器・（ ）
 - ・建物への引込管・敷地への引込管（廃止）・（ ）
 - ・屋外付帯
 - ・門、門塙・塙、フェンス・舗装・（ ）
 - ・植栽・（ ）
 - ・有害廃棄物の処理
 - ・廃PCB・特定フロンガス・廃石棉等・（ ）
 - ・什器、備品類等の撤去
各種残留物等の撤去は下表による。 ※を標準とする。

区分	建物管理者	工事請負者
アスベスト含有建材	※	※
オイルタンク内のオイル	※	※
ピット（浄化槽、便槽）汚泥	※	※
使用されていた酸、アルカリ、薬品等	※	※
医療系特別管理産業廃棄物、放射性廃棄物	※	※
フロン、ハロゲン使用機器	※	※
P C B使用機器	※	※

28．敷地に関する調査

・敷地内障害物の調査 ・敷地内配管、配線の調査 ・地下水位の調査

29．原形復旧

工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損が生じた場合は原形に復する。

30．設備工事との取合い

※施工区分表による
・施工範囲は下記による
※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材の切込み及び下地材の補強
※駆動装置が電動による建具類の２次配線及び操作スイッチ
※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・（ ）

31．風速及び地表面粗度区分

風速 （・34m/秒・） （各章共通）
地表面粗度区分（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）

32．接着剤

ホルムアルデヒド放散等級（※☆☆☆☆・☆☆☆・☆☆） （各章共通）

33．総合図での調整

各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承諾を受ける。
総合図は施工図作成に先立ち、建築、設備、その他別途発注工事業者の情報などをすべて盛り込んだ図面とし、それらの接点の細部調整を行う。
総合図の調整は、建築工事の請負者が行い、設備工事、その他の請負者がそれに協力する。
参考図の製品等の使用にあたっては、参考図以外の形状等に多少相違がある製品等でも同等品以上であれば使用できる。

34．参考図
（ノリ仕様様の図面）の取り扱い

35．竣工後の調査

竣工後（※２・１年以内）に当該工事範囲に関する経年変化の状況を調査し、報告すること。

① 足場その他

手すり先行足場について

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省 基発第042400号平成21年4月24日）」の「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものと、足場組立て、解体、変更の作業時及び使用時には、常時、手すり、中横及び両面幅木の機能を有するものを設置しなければならない。
なお、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。

内部足場 ※脚立、足場板等・（ ）（2.2.1）
外部足場 ※枠組足場・緊締式足場・単管足場・（ ）
防護シートによる養生※行う・行わない
材料、撤去材等の運搬 A種※B種・C種・D種・E種（表2.2.1）
既存部分の養生 ※ビニールシート等・合板・（ ）（2.3.1）
固定家具の養生・行わない ○行う（図示）
既存家具の養生 ※ビニールシート等・（ ）

3．仮設間仕切

仮設間仕切等の種別（表2.3.1）（表2.3.1）

種別	下地	仕上材（厚さ mm）	充てん材	塗装
・A種	・軽量鉄骨	・合板（9.0・12.0）	厚さ mm	※無し
・B種	・木下地	・石膏ボード（※9.5・）		※片面
・C種	・単管下地	・防護シート		※無し
・仮設扉	※木製扉 ・鋼製扉	※合板張り程度 ・（ ）程度		※片面

備考

承認書

- ※構内に新設する。(n 程度)
 ・既存建物内の一部を使用する。
 備品については、監督員の指示による。

⑤ 工事用水
 ⑥ 工事用電力
 ⑦ 総合仮設計画書
 ⑧ 危険防止

構内に既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない
 構内に既存の施設 ・利用できる(※有償 ・無償) ※利用できない
 ※要する
 仮囲い等 ・設けない ※設ける
 設置方法 ※成形鋼板($H=2.0m$) ・亜鉛鉄板($H=$ m) ・シート張り
 ・ロープ張り ・()
 ゲート ・シート($W=4.5m$) ・パネル($W=$ m)
 ・ハンガー($W=$ m)
 垂直防護施設 ①養生シート(・防炎Ⅰ類 ②防炎Ⅱ類) ・防音シート(防炎Ⅰ類同等)
 ・枠付き金網 ・アルミ防音パネル ・()
 水平防護施設 ・防護網(朝顔) ・ダブルネット
 防護施設等取付足場
 ・単管一本足場 ・相組一本足場($W=$ m) ③(くさび緊結式 $W=900$)
 設置範囲 ※図示による ④監督員の指示による
 設置期間 ※工事期間中 ・監督員の指示による

9. 構台
 養生構台 ・設置する(図示による) ・設置しない
 乗入れ構台 ・設置する(幅員 m 、長さ m) ・設置しない

⑩ 工事表示板等
 監督員の指示による

⑪ 工事車両の出入口
 工事用車両の出入口では、一般通行人及び一般車両の安全確保に努めること。
 交通誘導員 ・配置する(1名以上) ⑤配置しない

① 改修方法の種類及び工程
 防水改修方法の種類及び工程については「改修標準」表3.1.1による。(表3.1.1)
 シーリング改修工法の種類及び工程については「改修標準」表3.1.2による。(表3.1.2)

2. アスファルト防水
 (3.3.2.3) (表3.1.1) (表3.3.3~10)

防水改修工法種別		新規防水層の種別	施工箇所
保護 防水	・PIB工法	・B-1 ※ B-2	
	・PIBI工法	・BI-1 ※ BI-2	
	・P2AI工法	・AI-1 ※ AI-2	
	・P2AI工法	・A-1 ※ A-2	
露出 防水	・M4C工法	・C-1 ※ C-2	
	・M3D工法	・D-1 ※ D-2	
	・PDDI工法	・DI-1 ※ DI-2	
	・M4DI工法		
屋内 防水	・PIE工法	・E-1 ※ E-2	
	・PPE工法	保護層は図示による	

アスファルトの種類 ※3種 (3.2.2) (表3.3.2)
 M3D、PDD、PDDI、M3DI、及びM4DI工法の脱気装置 ※設ける ・設けない (3.3.3)
 断熱工法の断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種B A (スキム層付き) 厚さ(mm) ※25 (3.3.2)
 ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板3種B (スキムあり) 厚さ(mm) ※25
 立上り部の保護材 (3.3.2)
 ・乾式保護材 ※押出成型セメント版(厚さ15mm)
 ・れんが ※JIS R 1250によるもの
 ・市販品のれんが又は市販品のれんが形コンクリートブロック (見え隠れ部分)
 ・コンクリート

3. 改質アスファルトシート防水
 (表3.4.2.3) (表3.1.1) (表3.4.1~3)

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	厚さ(mm)	施工箇所
・M4S工法	・AS-1 ※ AS-2 ・ AS-3		
・M3AS工法	・AS-4 ・ AS-5 ・ AS-6		
・POAS工法			
・M3ASI工法	・AS-1 ※ AS-2		
・M4ASI工法			
・POASI工法			

M3AS、M4ASI及びPOASI工法の防湿層 ・設ける ・設けない (表3.4.3)
 M3AS、POAS、M3ASI、M4ASI及びPOASIの脱気装置 ※設けない ・設ける (3.4.3)

4. 合成高分子ルーフィングシート防水
 (3.5.2.3) (表3.1.1) (表3.5.1)

防水改修工法の種別	新規防水層の種別	施工箇所	仕上り塗料塗り	使用分類
・POS工法	・S-F1 ・ S-F2	平場 立上り	・シルバーク ・カラー ・製造メーカー仕様	※非歩行
・S4S工法	・S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3			
・POS1工法	・S1-F1 ・ S1-F2 ・ S1-M1 ・ S1-M2 ・ S1-M3			
・S3S工法	・S-F1 ・ S-F2			
・S3S1工法	・S1-F1 ・ S1-F2			
・M4S工法	・S-M1 ・ S-M2 ・ S-M3			
・M4S1工法	・S1-M1 ・ S1-M2 ・ S1-M3			

仕上り塗料の使用量
 脱気装置 ・設ける ・設けない (3.5.3)
 目地処理 ※PCコンクリートの場合 ・ALCパネル下地種別S-C1の場合 (3.5.4)
 (表3.6.3) (表3.6.1)

⑤ 塗膜防水

施工箇所	改修工法種別	新規防水層種別	仕上り塗料塗り
屋上	・POX	※ X-1	※ カラー ・ シルバー
	① L4X	※ X-2 ① X-1	※ カラー ① シルバー

脱気装置 ※図面図示による ① 種類 (SUS製) ② 設置数量 (1ヶ所)

⑥ シーリング
 シーリング改修工法の種類 (3.1.4) (表3.1.2)
 ・シーリング充填工法 ③シーリング再充填工法
 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法
 シーリング材の種類
 「改修標準」表3.7.1による。(表3.7.1)
 接着性試験 ※簡易接着性試験 (3.7.8)
 ・引張接着性試験(部位)

10. 重量シャッター

機能による種類
・ 管理用 ・ 防火 ・ 外壁用 ・ 屋内用 ・ 防煙
シャッターケース（防火・防煙以外の場合） ・ 設ける ・ 設けない（5.10.2）
開閉機能による種類
※上部電動式（手動併用） 電源 ※ V kw以下（過電流保護装置付）
・ 上部手動式
耐風圧強度（ ）
屋内用防火・防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・ シャッター二段降下方式
工事範囲 一次配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

11. 軽量シャッター

開閉機能による種類
※手動式
・ 上部電動式（手動併用） 電源 ※ V kw以下（過電流保護装置付）
耐風圧強度（ ）
スラットの形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
工事範囲 一次配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

12. オートハットドア

セクション材料 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ（5.12.2）
・ ファイバーグラスタイプ
開閉方式 ※バランス式 ・ チューン式 ・ 電動式
収納方式 ※折りたたみ形 ・ ロールアップ形 ・ リフト形 ・ バンパシ形
ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板（SUS304）
耐風圧強度（ ）

13. ガラス

建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面図示（建具表）による。（5.13.2）
ガラス留め材（5.13.2.（b））（5.13.3）（表5.13.1）

建具の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材（SR-1） ・ グレーシングガスケット
鋼製、ステンレス製	※シーリング材（SR-1）

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

1. 既存床の撤去
並びに下地補修

2. 接着剤

3. ビニル床シート張り

4. ビニル床材張り

5. ビニル幅木

6. カーペット敷き

7. 合成樹脂塗床

8. 防塵用塗料塗り

9. フローリング張り

10. 体育館用フローリング張り

11. 敷敷き

12. セットボード
その他ボード
及び合板張り

13. 壁紙張り

14. タイル張り

15. 断熱材

16. 吸音材

17. 断熱材

18. ステンレスの表面
仕上げ

19. アルミ及び
ステンレスの表面
処理

20. 鉄鋼の亜鉛め
っき

21. 軽量鉄骨
天井下地

22. 軽量鉄骨壁下地

6. 金属成形板張り
「14.6.2」

材 種	製 法	材 種	寸法 (mm)	厚 (mm)	表面処理
・ ステンレス系	・ 押出し	※ 7mm以下			・ B-1種
・ ロール	・ ()				・ B-2種
・ プレス					

伸縮調整継手 ・ 設ける ・ 設けない
「14.8.2」 「14.8.3」

種類	材料の種類	表面処理
・ 手すり	※ステンレスSUS304	※ 塩化ビニル 全面仕上げ ・ ()
・ 手すり	・ 鉄	亜鉛めっき 外部 ※C種 内部 ※E種
・ 手すり	※ステンレスSUS304	※ 研磨なし
・ 手すり	・ 鉄	亜鉛めっき 内外部 ※C種

7. 手すり及び
手すり

8. 可動助仕切
(既製間仕切)

9. 移動式間仕切
(スライドドア)

10. トイレブース

11. 階段滑止め

12. 階段手すり
(スロープ)

13. 床目地棒

14. 黒板及び
ホワイトボード

15. 鏡

16. 表示

17. 煙突ライニング

18. ブラインド

19. ロールスクリーン

14. カーテン及び
カーテンレール

15. ブラインドボックス
及び
カーテンボックス

16. コーナービード

17. 天井見切縁

18. 点検口

19. くつろぎマット

20. 鋼製書架及び
物品棚

21. 旗ざお

22. 旗ざお受金物

23. 流し台ユニット

24. 視覚障害者用
誘導床材

25. 既製フェンス

26. かざ箱

27. 敷地境界線

28. 屋外掲示板

29. 車止め支柱

30. 新聞受・郵便受

31. 木製家具

32. 収納・収納家具

33. 施工中の安全管理

「20.2.1」 「表20.2.1」

施工箇所	きり地名称品質	ひだの種類	形 式	間隔設置
			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ※無
			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ※無
			・ 片引き ・ 引分け	・ 有 ※無

※暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重掛けは300mm以上とする。
カーテンレール
材種 ※ステンレス型 ・ アルミニウム製 ・ 鋼製
形状 ※C型又はD型 ・ 角型
材種 ※アルミニウム製（既製品） ・ 鋼製 ・ ()
色彩 ※シルバー ・ 着色 ・ ()
形状 ※溝幅90×深さ150 ・ 溝幅 () × 深さ ()
材種 ※ステンレス製 ・ ()
材種 ※アルミニウム押出型材 ・ 塩化ビニル製
施工箇所 ※仕上表による ・ ()

「20.2.2」

施工箇所	構 法	寸 法 (mm)	高 さ (mm)	耐 震 性	所定荷重	表面仕上げ材	備 考
天井	・ バネ構造	・ 500×500		・ 1.06	・ 3,000	・ 帯電防止床タイル	
	・ 溝構造			・ 0.66	・ 5,000	・ タイルカーペット	

帯電防止性能 (U値) ・ 0.6 ・ 1.2
感電防止性能 (漏えい抵抗 R_レ1×10 Ω 6
構成材料 ※アルミニウム ・ 鋼製 ・ ()
製造所 () 同等以上

「20.2.3」

構造形式	パネル部の総厚さ	表面材種 (厚さ)	仕上げ
※ バネ式	・ () 以上	※鋼板 ・ ()	※メラミン樹脂又はアクリル樹脂
・ スタッド式		※0.6 ・ ()	接着付け
・ スタッドパネル式		・ ()	・ ()

品質JIS A 6512によるもの又は評価名簿によるもの
「20.2.4」

表面材種	仕上げ	パネル厚	遮音性
・ 鋼板	・ 焼付け	※60 ・ 80 ・ 100	・ 一般タイプ
・ ()	・ ()	・ ()	・ 遮音タイプ

製造所 () 同等以上

「20.2.5」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
・ パネル	・ パネル樹脂系化粧板	・ ステンレス系化粧板	・ ()
・ 部材	・ アルミ製	・ ステンレス製	・ ()
・ 付属金物	※ ステンレス製	・ ()	
・ 足形	※ 幅木型	・ 足金物型	
・ 形式	・ 丁番吊	・ 中心吊	

「20.2.6」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
・ 金属製	※ ステンレス製 (SUS304) ・ 真鍮製	・ ()	
・ 形式	※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り	・ タイヤなし	
・ 幅	※35	・ ()	
・ 取付	※接着工法	・ ()	
・ 磁器製	※60	・ ()	

床土上の異なる箇所には目地棒を入れる。
※ステンレス製 6×12 ・ ステンレス製 4×12 ・ 黄銅製 4×12
「20.2.8」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
※福岡県黒板工事特記仕様書の項目を適用する。			
・ 図示による			

「20.2.9」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
・ 鋼製	※なし ・ あり	・ ()	
・ ガラス厚	・ ()		

「20.2.10」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
※図示による			
・ 下記による			
・ 衝突防止表示	・ ステンレス製市販品	・ ()	
・ 非常用出入口の表示	・ 市販品	・ ()	
・ 緊急札	・ ステンレス製	・ ()	
・ ビクトグラフ	・ ステンレス製	・ ()	
・ 案内板	・ ステンレス製	・ ()	
・ ()	・ ()	・ ()	
・ ()	・ ()	・ ()	

「20.2.11」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
・ 煙突用成形ライニング材			
・ 最高使用温度	※650℃	・ ()℃	
・ キャスタブル耐火材			
・ 製造所	※監督員の承諾する製造所	・ ()	

「20.2.12」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
・ 鋼製ブラインド (JIS A 4801)		・ 鋼製ブラインド	
・ スラットの材質	※アルミニウム合金	・ アルミニウム合金	
・ 開閉方式	※ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作式	・ 1本操作コード ・ 2本操作コード	
・ スラットの幅	※25 ・ 35	・ 60 ・ 100	

「20.2.13」

材 種	仕 法	材 種	仕 法
・ ()			
・ ()			
・ ()			

「14.2.1」

種類	施工箇所	備考
※ヘアライン程度	・ 下記以外の見えぬ側り全て	
・ No.2程度		
・ 鏡面仕上げ		

「14.2.2」 「表14.2.1」

種類	施工箇所	備考
・ B-1種		無着色
・ B-2種		・ プラスチック ・ プラスチック ・ プラスチック
・ ()		

「14.2.3」 「表14.2.2」

施工箇所	亜鉛めっきの種類	備考
・ 溶融	・ A種 ・ B種 ・	JIS H 8641
・ 電気	・ D種 ・ E種 ・ F種	JIS A 8610

野縁等の種類（6.6.2）（表6.6.1）

内 部	※ 19 形 ・ 25 形 ・ ()
外 部	※ 19 形 ・ ()
外 部	※ 19 形 ・ ()

（6.6.3）
スタッド、ランナーの種類（6.7.3）（表6.7.1）
※「改修仕様」表6.7.1による ・ 図示による

工事名称
総合福祉センター外壁等改修工事

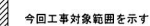
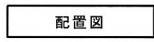
図面名称
改修工事特記仕様書(3)

都市整備部
建築政策課

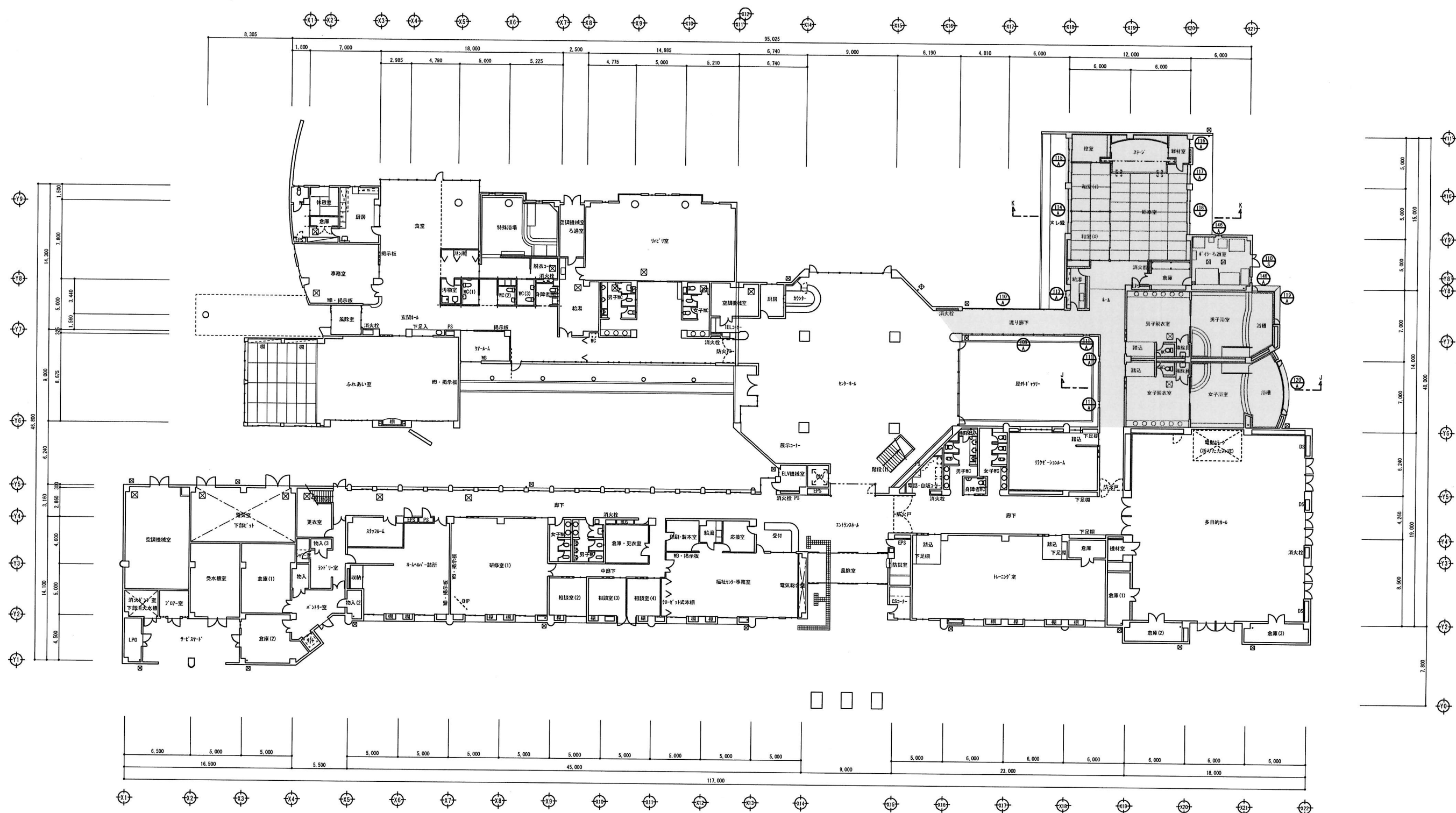
図面番号
A-03



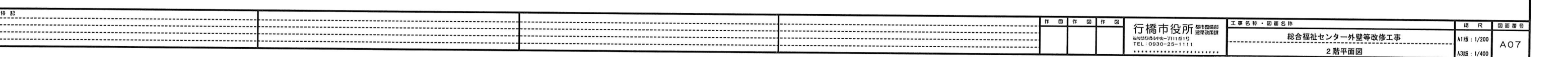
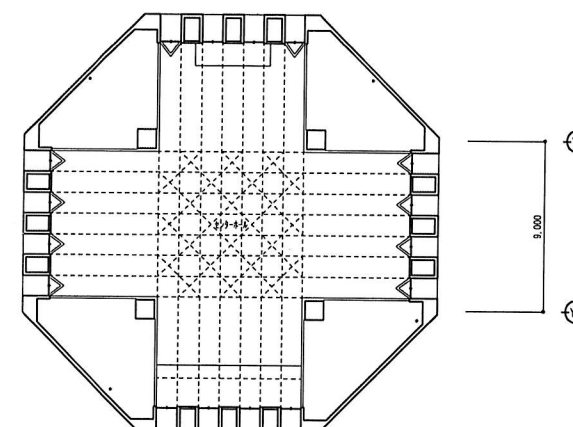
施工位置：行橋市大字中津熊501番地

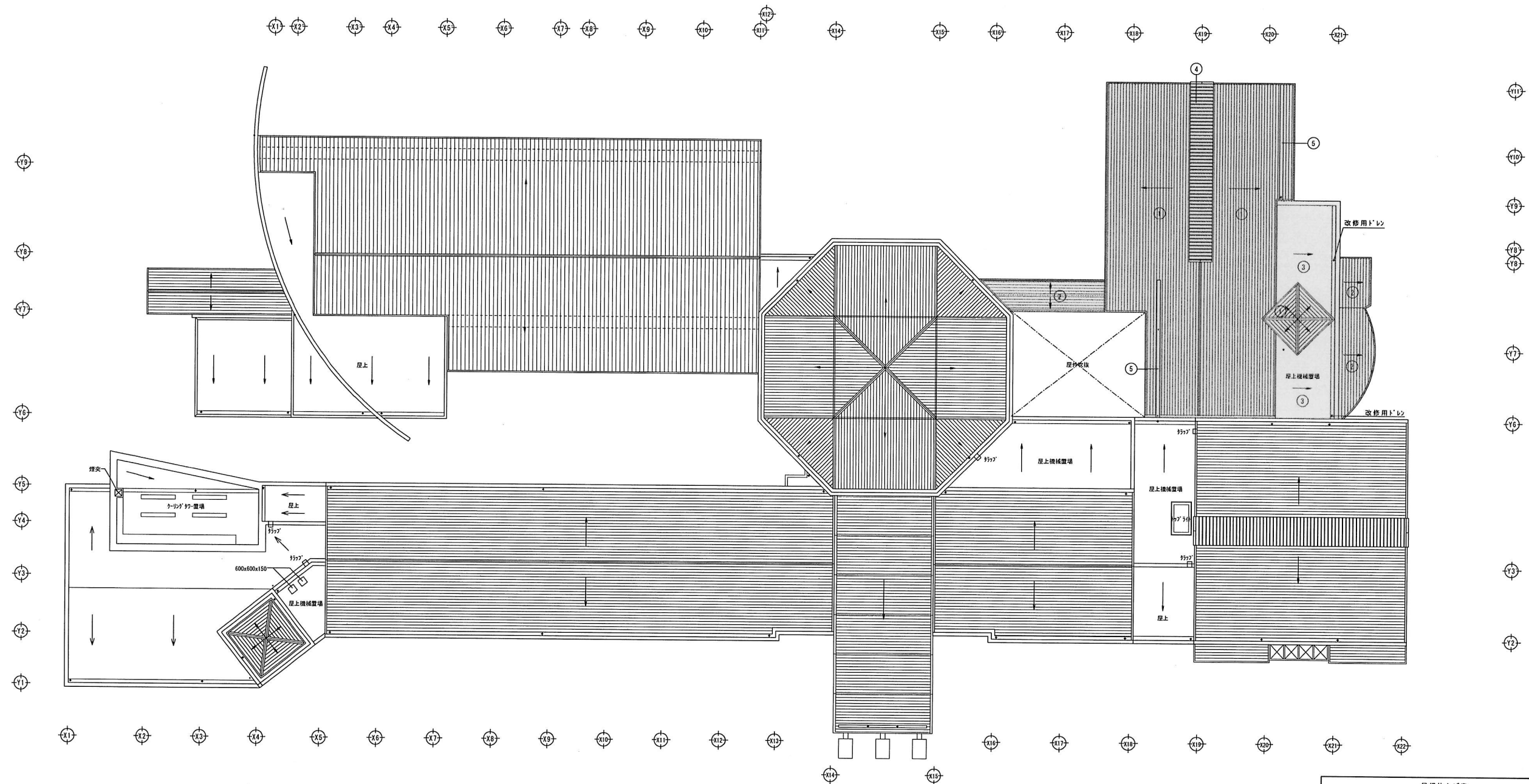


特 記				作 図	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 総務課市営中野一丁目第1号 TEL 0930 25 1111 *****	工事名称・図面名称 総合福祉センター外壁等改修工事 配置図・附近見取図	縮 尺 A1版：1/500 A3版：1/1000	図面番号 A05
-----	--	--	--	-----	-----	-----	---	---	--------------------------------	-------------



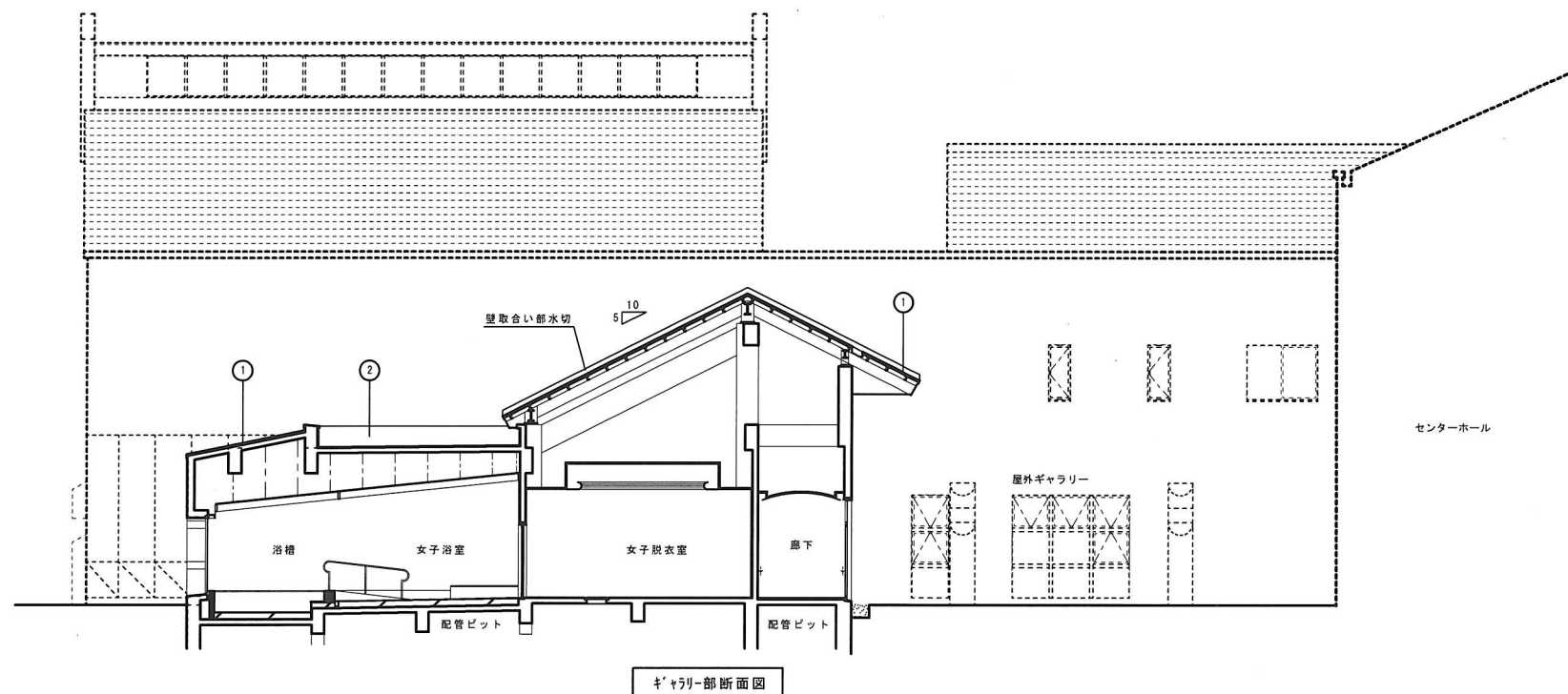
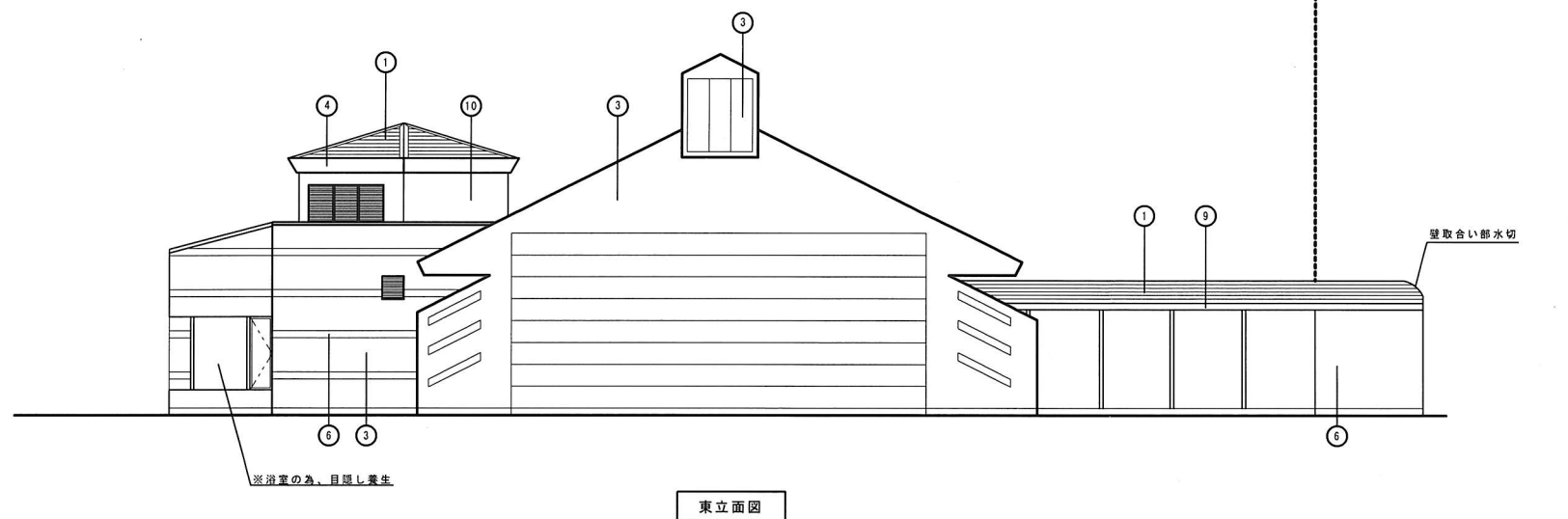
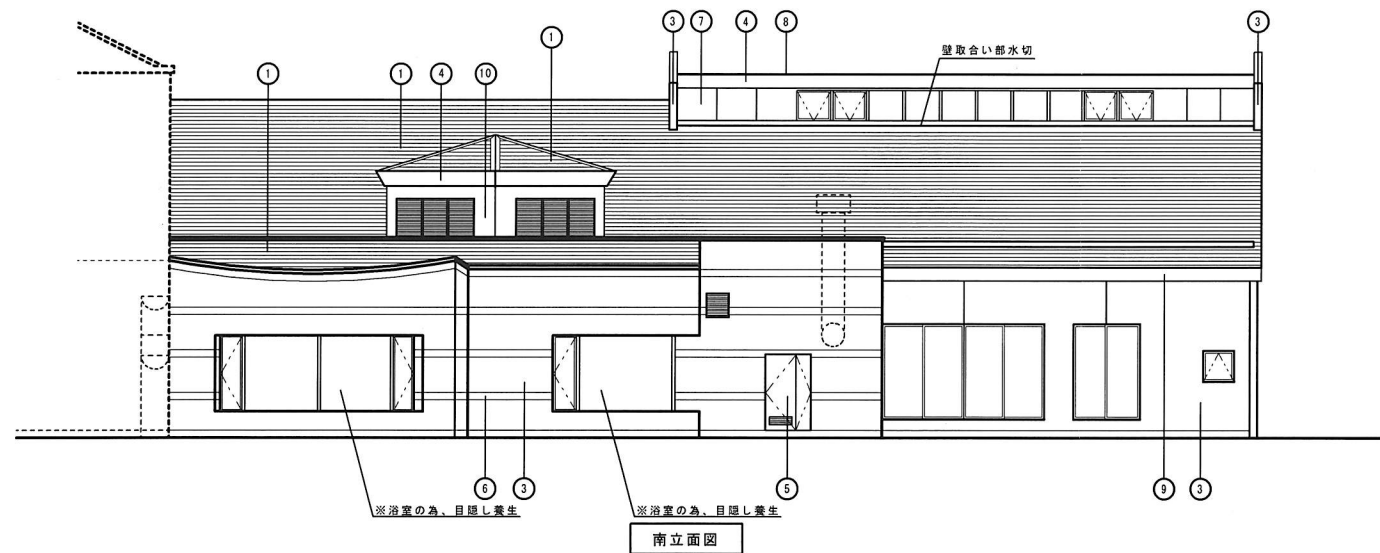
1階平面図



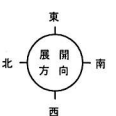
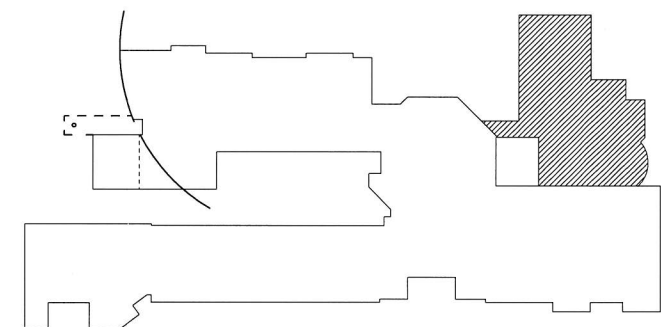


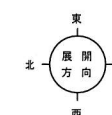
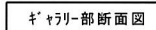
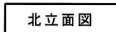
屋 根 伏 図 S=1:200

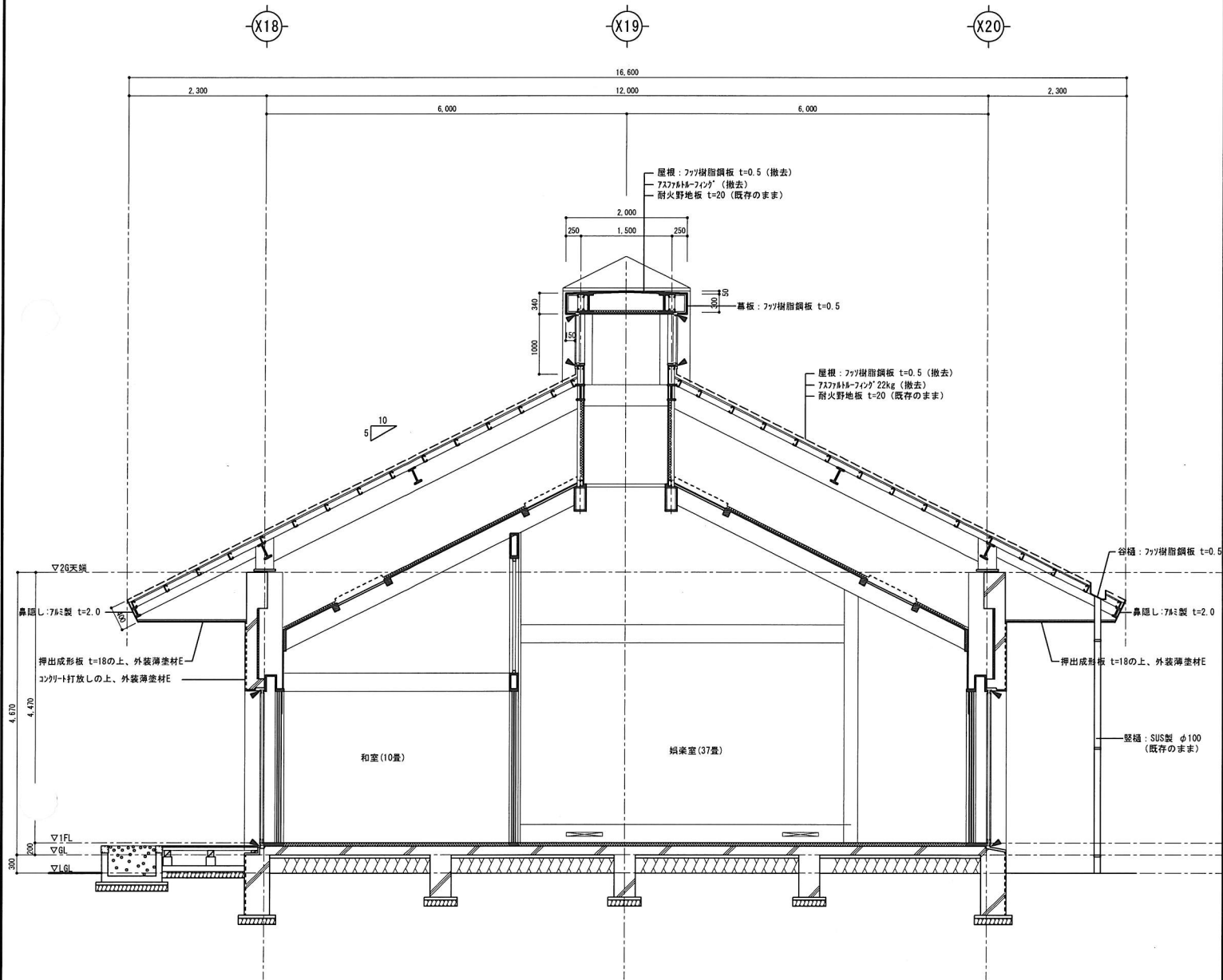
屋根仕上り表	
①	改修前 フッ素樹脂鋼板平葺 $t=0.5$
	改修後 $h^* \delta n^* \gamma \mu \alpha$ 鋼板平葺 $t=0.5$ *下地板既存のまま
②	改修前 フッ素樹脂鋼板平葺 $t=0.5$
	改修後 $h^* \delta n^* \gamma \mu \alpha$ 鋼板平葺 $t=0.5$ *下地板既存のまま
③	改修前 コクリン金コフ押えの上、塗膜防水
	改修後 平葺：塗膜防水X-1、立上り：塗膜防水X-2
④	改修前 フッ素樹脂鋼板立て $n t^*$ 葺 $t=0.5$
	改修後 $h^* \delta n^* \gamma \mu \alpha$ 鋼板立て $n t^*$ 葺 $t=0.5$ *下地板既存のまま
⑤	改修前 谷樋：フッ素樹脂鋼板 $t=0.5$
	改修後 谷樋：既存谷樋の上、耐蝕被覆鋼板 $t=0.4$
	改修前
	改修後



外部仕上 表		
①	改修前	フッ素樹脂鋼板平葺 t=0.5
	改修後	スレート鋼板平葺 t=0.5 *下地既存のまま
②	改修前	コンクリート金ツリ押えの上、塗膜防水
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、塗膜防水 X-2
③	改修前	コンクリート打放しの上、外装薄塗材E
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材E
④	改修前	フッ素樹脂鋼板 t=0.5
	改修後	DP塗リC種
⑤	改修前	鋼製建具 FP塗リ
	改修後	下地調整の上、DP塗リ
⑥	改修前	炬燵貫割取付φ100角張り
	改修後	既存のまま
⑦	改修前	スレート下地 フッ素樹脂鋼板t=1.6
	改修後	DP塗リC種
⑧	改修前	フッ素樹脂鋼板立てハケ葺 t=0.5
	改修後	スレート鋼板立てハケ葺 t=0.5 *下地既存のまま
⑨	改修前	鼻隠し：7&2製 t=2.0
	改修後	DP塗リC種
⑩	改修前	押出成型板の上、外装薄塗材E
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、防水形外装薄塗材E
⑪	改修前	
	改修後	
⑫	改修前	
	改修後	
⑬	改修前	
	改修後	
	改修前	
	改修後	
	改修前	
	改修後	
	改修前	
	改修後	
	改修前	
	改修後	

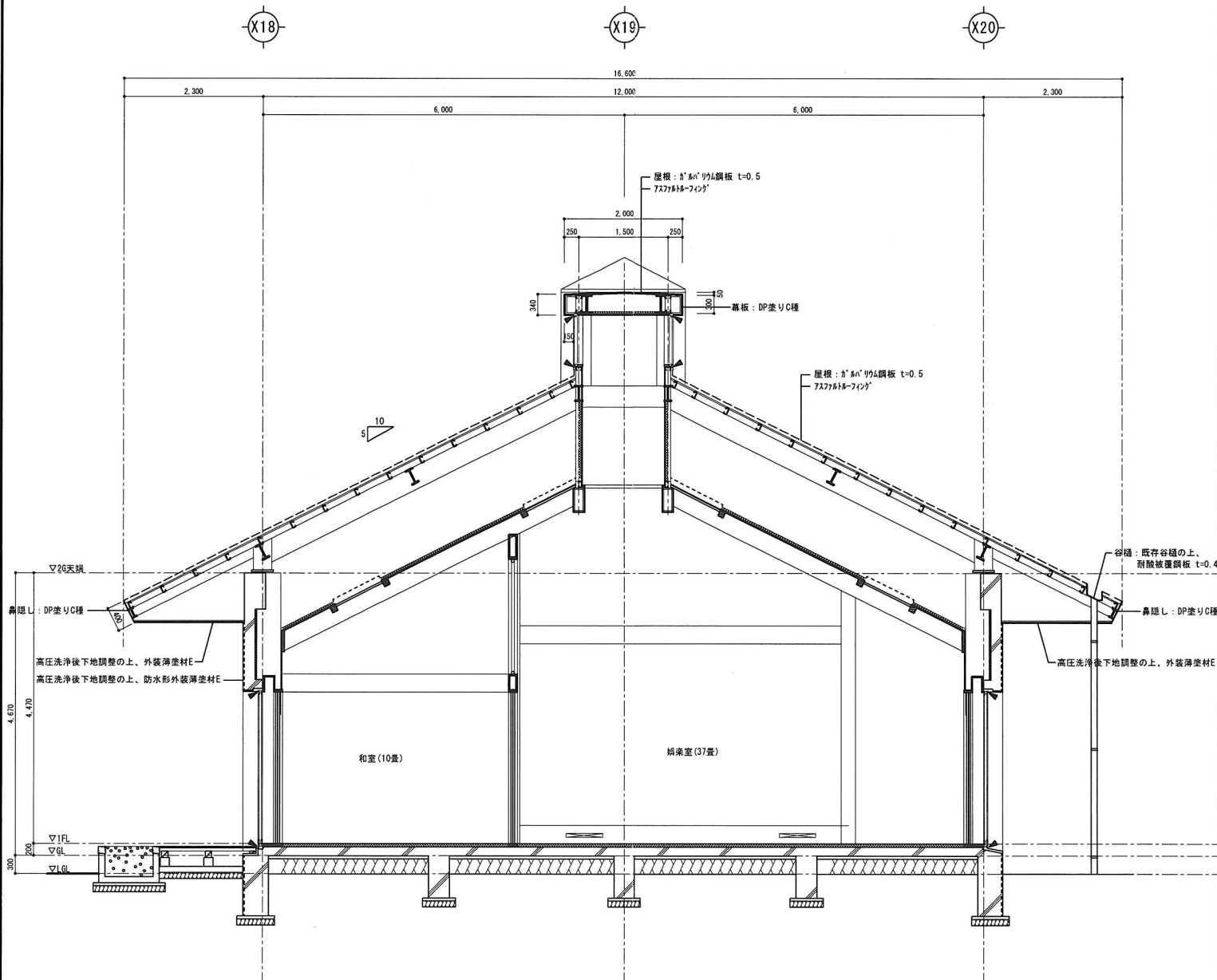






K-K 断面図 S=1:50

凡 例
◀ シーリング 撤去 (15 x 10)



K-K 断面図 S=1:50

凡 例
◀ シーリング 打替え (15 x 10)

符 号	109 A	1 箇所	110 A	1 箇所	111 A	3 箇所	112 A	1 箇所	113 A	1 箇所	114 A	1 箇所	115 A	1 箇所	116 A	1 箇所	117 A	1 箇所
姿 図																		
形 式	FIXd' 窓戸		FIXd' 窓戸 3mm外側し片引きd' 窓戸		3mm外側しFIXd' 窓戸		突出しd' 窓戸		引分けd' 窓戸		引分けd' 窓戸		突出しd' 窓戸		片引きd' 窓戸			
場所・数量	トンナ-8-6廊下		トンナ-8-6廊下		廊下		娯楽室(給湯室)		和室イ・ロ		和室イ・控室		機材室		娯楽室			
見込・仕上	7&製		7&製		7&製		7&製		7&製		7&製		7&製		7&製			
硝 子	FL-10		FL-10		FL-5		SG-5		FL-6		FL-6		FL-5		FL-6			
金 物	標準金物一式 全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 3方顔縁7mm' 付		標準金物一式 3方顔縁7mm' 付		標準金物一式 全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 全周顔縁7mm' 付			
備 考																		
符 号	118 A	1 箇所	119 A	1 箇所	120 A	1 箇所	145 A	2 箇所										
姿 図																		
形 式	引分けd' 窓戸		片開きd' 窓戸 FIXd' 窓戸		片開きd' 窓戸 FIXd' 窓戸		固定ガラリ											
場所・数量	娯楽室		男子浴室		女子浴室		4' 行-ろ過											
見込・仕上	7&製		7&製		7&製		7&製											
硝 子	FL-6		複層d' 窓(10W+A6+FL8)-FIX部分 開戸部分(6.8W+A6+FL5)		複層d' 窓(10W+A6+FL8)-FIX部分 開戸部分(6.8W+A6+FL5)													
金 物	標準金物一式 全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 上部のみ顔縁7mm' 付		標準金物一式 上部のみ顔縁7mm' 付													
備 考																		
符 号	218 A	2 箇所	219 A	2 箇所														
姿 図																		
形 式	固定ガラリ		突出しd' 窓戸(排煙窓・2連)															
場所・数量	浴室壁上		娯楽室トッパ' ライト															
見込・仕上	7&製		7&製															
硝 子			複層d' 窓(FL5+6A+FW6.8)															
金 物	全周顔縁7mm' 付		標準金物一式 オペレ-9- 全周顔縁7mm' 付															
備 考																		
符 号	110 S	1 箇所																
姿 図																		
形 式	親子開きフラスコ窓戸																	
場所・数量	4' 行-ろ過室																	
見込・仕上	見込100・xf-8製・FP塗リ																	
硝 子																		
金 物	標準金物一式・bN'-bN'付																	
備 考																		
特 記																		
作 図																		
行橋市役所 都市整備部 建設管理課 TEL 0930-25-1111																		
工事名称・図面名称												総合福祉センター外壁等改修工事		縮 尺		図面番号		
												建具表		A1版：1/100		A 1 4		
														A3版：1/200				